

## 自然保護の窓

### 第10期霊長類保護委員会より

#### 1. 「日本霊長類学会保全・福祉活動助成」制度について

日本霊長類学会では、霊長類の保全と動物福祉の振興を目的として、保全もしくは動物福祉にかかわる調査研究および活動に対して助成する「日本霊長類学会保全・福祉活動助成」制度を新たに設置いたしました。助成の対象者は、本学会正会員個人あるいは正会員を代表者とするグループで、毎年若干名を対象に1件10万円程度を助成します。応募される方は、履歴書と研究計画書を、霊長類保護委員会（〒669-3842 丹波市青垣町沢野940 兵庫県森林動物研究センター 室山泰之宛）に提出してください。詳細については、日本霊長類学会HPおよび霊長類研究本号に掲載の第24回総会議事録をご参照ください。ご応募をお待ちしております。

(室山泰之)

#### 2. 和歌山タイワンザル交雑群の生息状況調査について

2006年調査以降の変化を把握し、今後の捕獲・排除計画に役立てることを目標に、和歌山県大池周辺地域に生息するタイワンザル交雑個体群を対象として、群れ数、個体数、群れの構成及び行動域を調査しました。和歌山県との共同調査とし、調査費用は、保護委員会（自然保護活動費）と和歌山県が拠出しました。調査は学会員有志8名が交代しながら8月29日～9月7日の11日間行ないました。その結果、群れ数は2006年と同様に3群で、いずれの群れにも未捕獲のオトナメスを確認しました。また、どの群れにもコドモはいましたが、アカンボウは認められませんでした。全部で22個体を確認しましたが、見落としの可能性があるので、総個体数は30個体程度と推定されています。避妊処置済みのメスの比率は高いですが、繁殖可能なタイワンザルないしは交雑のメスも依然残っています。また、群れメンバーが分派行動をとる場合があることを確認しました。

(川本 芳)

#### 3. 国際シンポジウムの後援について

10月27～31日に沖縄で開催される国際シンポジウム「侵略的外来哺乳類の防除戦略－生物多様性の保全をめざして－」を学会が後援することを決定しました。

(川本 芳)

#### 4. 物品販売について

昨年度に引き続き、第24回大会では、テレホンカードについては額面通り販売し、残りの物品については広報活動という性格を考慮して、一般公開講演会の入り口で参加者に配布し、ご寄付をお願いするという事にいたしました。その結果、テレホンカードについては16枚8,000円の売り上げがあったほか、24,460円のご寄付がありました。皆様のご協力に感謝いたします。

(室山泰之)